Vol. 2,095

namova

アセットマネジメント(am)を ムーヴ(move)する

Rakuyomi 世界銀行が金価格見通しを 一段と引き上げ

金(現物)価格は今年3月に史上初めて1トロイオ ンス=3,000米ドル台に到達し、その後も堅調に推 移しています。こうした中、本稿では、世界銀行 (世銀)が4月下旬に公表した最新の商品価格見 通しに基き、金相場の動向や展望についてご紹介 します。

政策の不確実性の高まりなどが金高騰の背景に

最近の金相場の動向について、世銀は、政策の 不確実性の高まりや貿易摩擦の先鋭化に加え、 足元の金融市場の混乱を受けた低リスク資産(例 えば米国債)の価格調整など、複数の要因が金価 格を押し上げていると指摘しました。また世銀は、 外貨準備の構成の多様化に向けた中央銀行の積 極的な金購入(グラフ【A】)も引き続き追い風に なっている、との認識を示しました。

金は3,000米ドル台で高止まりの見通し

金価格の見通しについて、世銀は、25年に年平 均3,250米ドル、26年には3,200米ドルと予測しま した(グラフ【B】)。 前回(24年10月)見通しにおけ る、25年:2,325米ドル、26年:2,250米ドルから、 いずれも大幅に上方修正した格好です。

こうした見通しについて世銀は、先行きの不確実 性や地政学的緊張、金融市場の変動性の高まり (グラフ【C】)への懸念などから、投資家のリスク回 避先としての金の需要が根強いことを背景に挙げ ました。また、26年にかけては、不確実性の緩和 に伴ない金価格が僅かに低下するとみられるもの

の高止まりが続くとの見解を示しました。

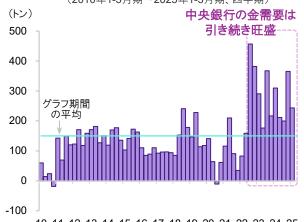
経済の先行き不確実性が高まれば上振れ余地も

4月末の金価格の水準が3.300米ドル付近であ ることから、世銀の見通しは一見、今後の上昇余 地が乏しいことを示しているように思われます。し かし、先行きのリスクに関して世銀は、金を含む貴 金属全般について、貿易摩擦の激化などに伴な い経済の先行き不確実性が高まれば、見通しから 上振れするリスクがあるとしました。

そのため、世銀の見通しは慎重というよりも、大 幅な上方修正をしてもなお、投資家によるリスク回 避先としての金の需要が根強いことを示唆してい る、と考えられます。

【A】世界の中央銀行による金の購入量*

(2010年1-3月期~2025年1-3月期、四半期)



10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 (年) *購入量から売却量を差し引いた純購入量

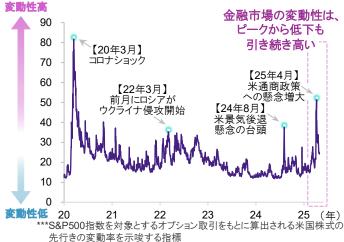
【B】金価格の推移と世銀による見通し**

(2020年1月2日~2025年4月30日、日次)



(2020年1月2日~2025年4月30日、日次)

【C】VIX指数***の推移



世界銀行やWGC(ワールドゴールドカウンシル)などの信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成 ※指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

●上記は過去のものおよび見通しであり、将来を約束するものではありません

日興アセットマネジメント

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるもので 「はありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある 資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・ 換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。